

電子決済研究所・海外視察レポート 2010 第 1 弾！

『欧州視察 2009』視察レポートのご案内

世界最大級のカード関連の展示会およびカンファレンス「CARTES&IDentification 2009 (カルテ 2009)」が昨年、2009 年 11 月 17 日から 19 日の 3 日間に渡り、フランス・パリで開催されました。

電子決済研究所では同展示会の会期に併せて欧州視察団(団長・山本正行氏、主催・(株)インフォエックス)を企画・派遣し、展示会内外にてキーパーソンとの個別面談を実施。IC カード(カード決済)や「NFC」(モバイルコマース等)を巡る最新事情について、情報交換を行いました。具体的には、EU 統一の決済・送金スキームとして注目を集める「SEPA(セパ)」、交通系 IC カードの共通規格「CALYPSO(カリュプソ)」、さらに視察日程の後半にはロンドン(イギリス)へ移動し、英国のキャッシュレスやカード決済などの最新事情などについて見識を深めてまいりました。

電子決済研究所ではこのほど、この欧州視察で得られた知見をカードビジネス・電子決済分野にご関心の高い企業の皆さまと共有すべく、視察の中身を凝縮した特別レポートを取りまとめました。本レポートをご購入いただくことで、関連企業様におかれましては、現地へのご出張経費や情報分析などに多大なコストをかけることなく、欧州カードビジネスの最新情報を入手することができます。

ぜひともこの機会に、『欧州視察 2009』視察レポートのご購入をご検討ください。

【レポート概要】

書 名:『欧州視察 2009』視察レポート
発 行:電子決済研究所
協 力:(株)インフォエックス <<視察団主催>>
体 裁:A4 カラー・107 ページ(簡易製本/リング式)
言 語:日本語

発 行 日:2010 年 2 月 12 日

頒布価格:97,000 円(税・送料込み)

→ 2010 年 3 月末までの特別割引価格 77,000 円(税・送料込み)

オプション:ご要望により、視察レポートの内容解説を含む視察報告会を実施させていただきます(提供価格 50,000 円<税込み>※分売不可)。報告会の定員は 20 名程度までで応相談。上記金額に会場代・資料コピー代は含みません。

【CARTES&IDentification 2009 概要】

- 『CARTES&IDentification』は、例年、世界最大級の規模で開催されるカードビジネス関連の展示会およびカンファレンス。2009 年は 11 月 17 日(火)から 19 日(木)の 3 日間に渡り、フランス・パリで開催されました。
- 開催期間:2009 年 11 月 17 日(火)・18 日(水)・19 日(木)
- 展示会場:パリ・ノールヴィラパントエキシビジョンセンター(フランス)
- 展示企業:427 社・団体
- 来場者数:1 万 9,883 人
- 展示会 URL:<http://www.cartes.com/>

【視察団概要】

視察団長:山本正行 (山本国際コンサルタンツ代表/関東学院大学・経済学部 講師)

<http://www.m-yamamoto.com/>

(プロフィール)現在、山本国際コンサルタンツ代表、山本コマース IT オフィス代表、関東学院大学 経済学部 講師、社団法人 電波産業会 高度無線通信研究委員会 特別委員などを務める。2005 年 3 月まではビザ・インターナショナル・ディレクター(新技術推進部)。クレジット業界におけるカードの IC 化、モバイルコマース推進役として貢献。

視察主催:(株)インフォエックス <http://www.infoex.co.jp>

視察企画:電子決済研究所 <http://www.epayments.jp>

視察団メンバー:カード関連企業のご参加希望者

【2009 年度・個別面談先】

・パリ視察訪問先

- RATP(パリ市交通公団)、CALYPSO(ISO 14443 TypeB方式を用いた IC 交通乗車券の国際標準規格。および規格を管理・運営する組織。)
- EPC:European Payments Council(Single Euro Payments Area (SEPA)の実現に向け、統一ペイメントスキームの仕様などを策定している委員会)
- Cartes 2009 会場 事業者個別面談:金融機関・カードブランド(Credit Mutual 等)、携帯電話事業者(Orange 等)、カードメーカー、半導体ベンダーなどから 3~4 社程度実施(視察団用会議室にて個別ヒアリング)

・ロンドン視察訪問先

- UK Payments(旧 APACS・銀行共同支払決済機構)
- EMA:Electronic Money Association(英国内の電子マネー(e-money)発行会社やペイメントサービス事業者が 2001 年に設立した業界団体)

視察レポート目次

※レポートの内容はすべて日本語です。

【欧州視察 2009 の概要】

- 「欧州視察 2009」視察団・視察行程表
- 『Cartes & IDentification 2009』概要
- 『Cartes & IDentification 2009』展示会場

【視察レポート】

1.『Cartes & IDentification 2009』の概況

2. 個別企業ヒアリング結果

2.1 Orange(オレンジ)

トランザクションサービス—モバイルの新たな領域

新興国で期待されるモバイルオペレータブランドの金融サービス

AFSCM メンバー

SE(セキュアエレメント)管理者としてのモバイルオペレータ

オープンで相互運用可能な NFC サービスプラットフォームを定義

標準インターフェースの仕様

AFSCM の成果とドキュメント

2010 年商用化成功に向けて広範囲での協調が進む

ニース(Nice)での NFC 商用化: 3,300 人の携帯電話ユーザーが参加

ニース NFC 商用化への参加形態

新たなエコシステムを認識するためのブランドマーク、NFC タグの発行: シンプルで強力なサービス

柔軟なコミュニケーションに対応

視察団との質疑応答

2.2 CALYPSO: Calypso Networks

Association(カリュブソ、カリュブソネットワーク協会)

単純な販売システムから 1 つの AFC システムへ

カリュブソとは何か?

カリュブソの柱

他に何が必要か?

最終ゴール、課題、そしてソリューション

JavaCard をベースに採用

携帯電話は夢のトークンか?

さまざまな可能性を内包しつつ、ISO 規格を尊重

アプリケーションの概要と製品のリモート管理

Mr. Philippe Vappereau(Calypso Networks Association(CNA)会長)のコメント

視察団との質疑応答

2.3 European Payments Council

(欧州決済委員会)

ECB による第 6 回進捗状況報告書(2008 年 11 月公表)

欧州委員会の目的

EPC による宣言(2005 年 3 月 17 日)

SEPA における競争と協調の関係性(2 つの側のマーケット)

SEPA クレジットトランスファー(振込)&

SEPA ダイレクトデビット(口座引き落とし)

SEPA カード(SEPA for Cards)

SEPA カードの標準

SEPA カードの標準化

CSG(カードステークホルダーグループ)の目的
現金(キャッシュ)

e ペイメント(e-Payments)とモバイルペイメント(m-Payments)

e ペイメント(e-Payments)

EPC と GSMA の協調

SEPA 利害関係者による協調モデル、EPC 組織図(2009 年 10 月)

EPC 組織図(2009 年 10 月)

結論

視察団との質疑応答

【参考資料】 SINGLE EURO

PAYMENTS AREA 日本語試訳

3.『Cartes & IDentification 2009』展示会場の模様

4.ロンドン視察

4.1 UK Payments(旧名称・APACS)

ペイメントカウンシル

英国における決済金額の内訳(2008 年実績)

英国における決済金額の内訳(2018 年予測)

デビットカード

クレジットカードとチャージカード

カード不正(1998 年～2008 年)

カード不正使用額の発生比率(1990 年～2008 年)

プラスチックカード不正使用被害額(2008 年)

英国における不正利用の発生場所

カード不正の発生地域・国内と海外の比較

海外へ移行する不正使用

不正使用対策

非接触決済

Faster Payments

小切手精算プロセスの変更

将来

視察団との質疑応答

4.2 Electronic Money Association

(英国電子マネー協会)

概要

EMA の加盟メンバー(説明資料 2・3)

E-cash の野望

E-money:オンラインサービス

E-money:オフラインサービス

EU における E-money の取引件数・取引金額の成長推移

規制の枠組み要素

教訓 — 事業コスト

教訓 — リスク

教訓 — 規制障壁

ペイメントサービスプロバイダー — 支払機関

新たな事業機会

さらなる事業機会

トレンドと方向性

視察団との質疑応答

■関連用語

(お問い合わせ先)

電子決済研究所 担当:多田羅(たたら)

〒113-0033 東京都文京区本郷 3-2-7 お茶の水サニービル5F

TEL:050-5534-6688 FAX:050-3737-1113

E-mail:tatar@epayments.jp

<http://www.epayments.jp/>

<ご注文書> 1/1 ページ

ご返信先:FAX 050-3737-1113

「欧州視察 2009 レポート」を申し込みます。

ご注文	項目	販売価格(税・送料込み)	数量
()	「欧州視察 2009 レポート」	特割価格 77,000 円	部
()	<オプション>視察報告会開催 (定員 20 名まで。会場代・資料コピー代は含みません)	50,000 円	

ご注文情報	
会社名	
ご注文者名 (ご請求先)	
部署名	
役職名	
ご住所	
電話番号	
FAX 番号	
(備考・通信欄)	

<代金のお支払いについて>

- ご注文書受領後、当方よりご請求書を発行させていただきますので、指定の銀行口座へ代金をお振り込みください。ご注文いただきましてから速やかに、商品を送送いたします。